

日本語教材まつり2012 「読む」を考える

日 時：2012年10月27日（土）10：30～17：30（受付開始10：00～）

会 場：アルクイベントホール

（東京都杉並区永福2-54-12 / 京王井の頭線 永福町駅）

対 象：日本語教育に興味のある方

（ボランティア、日本語教師、養成講座受講生など）

参加費：1,000円（税込）

定 員：100名（先着順。定員になり次第締め切ります）

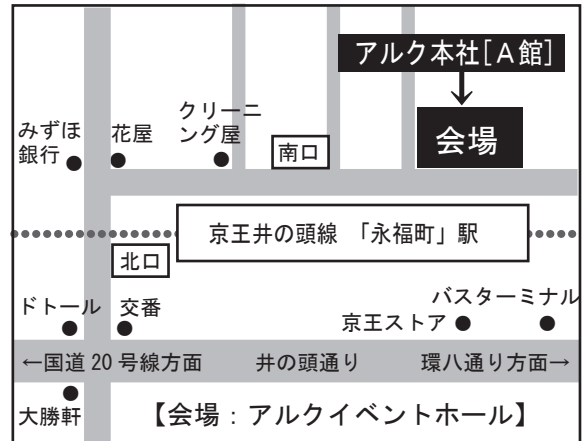
申込み：イベント名、開催日時、申込者氏名・住所・電話番号・
メールアドレスを下記宛にご連絡の上お申し込みください。

問合せ / 申込み先：凡人社営業部（担当：坂井）

TEL：03-3263-3959 FAX：03-3263-3116

E-mail：ksakai@bonjinsha.co.jp

主 催：アルク、くろしお出版、スリーエーネットワーク、凡人社



内容／スケジュール（予定）

10：30～10：40 【ご挨拶】

10：40～12：00 【セミナー①】

館岡洋子／早稲田大学大学院日本語教育研究科教授

テーマテキスト／『日本語教育叢書「つくる」 読解教材を作る』（スリーエーネットワーク）

今回のイベントの最初のセミナーでは、実はとても多様な行為である「読む」ことについて、またその行為を通じた「読解教育／教材」をテーマに、お話しいたします。

12：00～13：00 【休 憩】

13：00～14：20 【セミナー②】

筒井千絵／フェリス学院大学専任講師

テーマテキスト／『留学生のための 読解トレーニング』（凡人社）

本書は、中級前半から上級までの学習者を対象とした、日本語の文章を読む技術＜読解ストラテジー＞を学ぶ教材です。4部15課構成で、各部で「1文の理解」「文の連続の理解」「文章の展開の理解」「知識を使つての理解」に必要なストラテジーを学び、これらのストラテジーを用いてボトムアップ／トップダウン処理、局所的／全体的な処理がバランスよく鍛えられるようになっています。当日は、コンセプトと使い方・実践例についてワークショップ形式も取り入れながら、お話しいたします。

14：30～15：50 【セミナー③】

奥田純子／コミュニケーション学院 学院長

テーマテキスト／『読む力 中級』（くろしお出版）

語彙と文法の知識だけで文章は読めません。では、読みの力をつけるには？ 本書は、書かれたことを正確に読み取る力をつけることに特化した教材です。言語の問いと認知の問いを明確に区分し、問題ごとに読みのスキルを特定しました。これを使えば、ベテランも初心者も自信を持って授業ができる！ そんな教材を目指しました。「言語タスク」と「認知タスク」の区別、自己評価に役立つ「スキル表」の使い方など、実際の問題例を見ながらお話しいたします。

16：10～17：30 【セミナー④】

西原純子／（財）京都日本語教育センター 京都日本語学校長

テーマテキスト／『日本文化を読む』（アルク）

「話し言葉」と「書き言葉」が大きく違う。これが日本語の特徴のひとつです。しかし、「書き言葉」を本格的に習い始めるのは、中級レベルになってから。初級レベルでは口頭練習が中心となっているのが現状です。そこで、「上質な文章を初級終了時から読む」をコンセプトに、『日本文化を読む』シリーズ中上級編を発刊することになりました。読むことを通して日本語の構造を理解し、同時に日本文化・日本事情を学ぶ。ご期待ください。

* 当日、各研修の題材書籍や日本語教材の展示・販売を予定しております。

会場限定での割引あり！

* 内容／スケジュールは変更の場合もございます。

※ 画像は既刊の『上級編』です。

『中上級編』は10月発売予定です。

